ジョイフル城北
スマイル城北

令和７年度 学校だより
ジョイスマ
令和７年　６月　２日
熊本市立城北小学校
校長

天気を心配しました！

５月24日（土）に城北小学校第63回大運動会が開催される予定でした。しかし、週間天気予報を見ると、「雨」か「雨時々曇り」です。以前は、気象庁が発表する天気予報しかありませんでしたが、今は、天気予報を発信する会社がいくつもあます。ということは、会社ごとに気象予報士が違うということです。気象予報士が違えば、天気予報も会社によって少しずつ違うはずです。でも、運動会のある5月24日（土）の週間天気予報は、どの予報士も雨の降る確立が80～100％で、少しも予報が変わりません。そこで、土曜日は雨と判断し、次の日の日曜日に運動会を順延にしました。その日曜日は、曇りがちの天気でしたが、風もなく、気温もあまり上がらず、子どもたちにとっても、参観される方々にとっても、運動会日和でした。

さて運動会の競技ですが、徒競走は１年生から6年生までの全学年が共通で取り組みました。私は、この徒競走を見ると、よくその学年の発達段階を見ることができると考えています。１年生は小学校での初めての運動会です。階段状のスタートラインからセパレートコースを走り、ゴールを目指します。これは大人から見ると普通のことです。しかし、１年生から見ると、みんなスタートラインにバラバラに並び、スターターの音に合わせ、自分のコース内をコーナーワークしながら、ラインからはみ出さないようにして走るのは、とても大変なことです。このいろいろな動きをスムーズにできるのが、経験のある2年生です。さらに、走るピッチやストライドなど、学年が上に上がるほど、競技として技術力が向上した走りを見ることができます。まさに6年生の走る姿が、小学校での目指す走りだと思います。先日私は、清水中学校の体育大会を参観しました。小学校では、スタンディングスタートですが、中学生はクラウチングスタートを行っていました。その様子から、発達段階に合わせて、さらなる学びと学びの接続の姿を見ることができました。また、来賓の方々から、「次は6年生のソーラン節ですね。楽しみにしてきました。」「応援団の子どもたちの声や演舞を見ると、元気が出ます。」というれしいお声をたくさんいただきました。

今年の運動会は、当日の天気を心配しました。しかし、子どもたちの走ったり、踊ったりする姿から、たくさんの笑顔をもらいました。子どもたちの頑張りに惜しみない拍手や応援をしていただいた保護者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。